【仙台総局】仙台市青葉区上杉1-6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台 ☎022-221-9211
【東京本社】港区東新橋2-6-6 汐留AZビル ☎03-5733-2740
【千葉総局】千葉市中央区新田町5-10 わかちく千葉ビル ☎043-203-8171
【水戸総局】水戸市南町2-5-24 榎沢本店ビル ☎029-227-4551
【宇都宮総局】宇都宮市本町9-12 亀田ビル ☎028-622-8111
ホームページアドレス http://www.jcpress.co.jp
メールアドレス jcp-sendai@jcpress.co.jp

宮城 全県版
©日本建設新聞社（令和3年）
〔昭和41年11月16日 第3種郵便物認可〕
日刊（日、月、祝翌日休刊）

日刊建設新聞
The Nikkan Kensetsu Shimbun

12月11日土曜日
2021年 第11388号

発行所
日本建設新聞社
仙台市青葉区上杉1-6-10
電話022-221-9211
FAX022-216-1051

借りたい 買いたい 直したい
現場のことなら丸ごとお任せ
日立建機ニッポン!
RSS Rental Sales Service NIPPON
日立建機日本株式会社
仙台営業所（販売・サービス）☎022-364-6131 石巻営業所 ☎0225-75-2308
（レンタル）☎022-367-0161 気仙沼営業所 ☎0226-22-7885
仙台中央営業所 ☎022-235-0315 仙台北営業所 ☎022-773-4153
古川営業所 ☎0229-28-4323 仙南営業所 ☎0224-87-6704

来年度に消防署改築

河北地区 基本設計が完了

石巻市

石巻市は河北消防署の改築を計画しており、すでに新消防庁舎の基本設計をまとめ、実施設計に取り掛かっている。基本・実施設計業務は一括して綜企画設計（仙台支店・仙台市泉区）が担当しており、来年2月末までにまとめる。新築工事は建築・電気設備・機械設備の3分離で2022年度のできるだけ早期に発注し、早ければ市議会6月定例会で契約承認を得たい考え。

総合計画の実施計画（22～24年度）では、同署の整備事業費に22～23年度の2カ年で8億7457万円を見込んでいる。年度別の内訳は、22年度が8億4800万円、23年度が2657万円。

河北消防署は所在地が成田字小塚裏畑17-1他で、敷地面積が678㎡。西側に旧シルバー人材センターの建物（事務所）が隣接している。計画では事務所を解体撤去し、西側に敷地を拡張した上で、消防庁舎を建て替える。敷地面積は2600㎡程度になる見込み。

新しい庁舎はRC造2階建て延べ1000㎡程度の規模を想定。事務室や会議室、仮眠室、食堂、倉庫、多目的室、車庫などを設ける予定だ。

既存施設はRC造2階建て延べ396㎡の庁舎棟、S造2階建て延べ354㎡の会議室棟、倉庫2棟、事務所1棟が建っている。このうち、最初に倉庫2棟と事務所1棟を解体撤去し、新庁舎を建設した後、既存庁舎や会議室棟を解体する予定。既存庁舎の跡地は駐車場に活用する考え。

現地はもともと北上川に近い湿地帯で地盤が緩いため、新築では杭を打つ。支持地盤は70mを超える所に位置している。建設予定地の地質調査はウエスコ（東北事務所・仙台市太白区）に委託した。

工期は13～15カ月を想定。同業務を委託した時点で、建築費は6億800万円、既存施設の解体費に1億5000万円を試算している。

公園施設50基を更新

22～24年度の長寿命化

石巻市は公園施設の長寿命化事業で、2020～24年度に30公園の遊具など75基を更新することにしており、うち本年度までに10公園の25基分を工事発注し、22～24年度で残る20公園の50基を更新する計画だ。更新事業費は国の社会資本整備総合交付金（社総交）を活用する。5カ年の総事業費は1億8400万円を試算している。

公園施設の長寿命化対策工事は、20年度分の工事費を繰り越したため、実質的には本年度から進める。本年度は最初の工事を一般競争入札でグリーンパル石巻（石巻市）に発注した。宜山町などでブランコ1基と滑り台5基を更新する。同社の落札額は527万0699円。工期は22年3月25日まで。本年度はさらに、その2工事で7公園の19基を更新する。

長寿命化対策では社総交を活用した公園施設の更新以外に、市の単費を使って塗装などの修繕を順次進める。社総交と単費を合わせた事業費は、22～24年度の3カ年で2億0300万円を試算。年度別の内訳は、22年度が5300万円、23年度が5800万円、24年度が9200万円となっている。

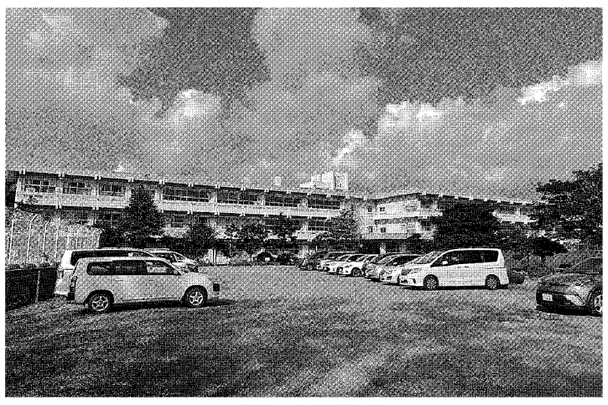
社総交の交付期間が終了した後の25年度以降は、改めて補助金を確保しながら計画的に公園施設を更新していく考え。

造園工を対象にトイレ・遊具の更新公告

同市は10日付で、公園施設長寿命化対策工事（その2）の一般競争入札（事後審査）を公告した。7公園の遊具やトイレを計19基更新する工事で、来月4日まで参加申請書を受け付け、翌5日に開札する。

工事場所は緑町1丁目の箇場公園などで、更新対象の施設がブランコ5基、鉄棒2基、すべり台4基、シーソー3基、スイング遊具、ステップ遊具、ラダー、クロスジャングル、トイレが各1基。予定価格は2645万2000円。工期は22年3月31日まで。

入札の参加資格は、市内に本店を置き、造園工事に関する経審の総合評定値が650点以上あることなど。


増改築する古川西中学校

建築と機械を公告

大崎市 西部統合校 校舎や体育館の増築など

大崎市は10日、大崎市古川西部地区統合校舎・屋内運動場増築及び既存校舎改修工事（建築）と同（機械）の総合評価方式による一般競争入札を公告した。統合校は古川西中学校（古川渋井）を活用して既存校舎の改修や増築を進め、2023年4月の供用開始を目指している。

入札は単体または2から3者の特定JVが対象。地域要件などは共通で市内に本社か受任機関を持ち、建築・機械のそれぞれの格付けがA等級であることなど。単独企業とJVの代表者には施工実績も求める。

JVで参加する場合は、参加申請書を24日までに郵送で提出すること。設計図書の閲覧は2022年1月21日まで。入札書は同22日までに市総務部財政課まで郵送すること。

古川西部地区統合校は、12年3月に策定した学校教育環境整備指針に基づき学校再編事業を進めている。同地区では、古川西中学校、志田小学校、西古川小学校、東大崎小学校、高倉小学校の5校を対象に義務教育学校と呼ばれる校舎一体型小中一貫校で再編する。

建築工事ではRC造3階建て延べ4077㎡の既存校舎とRC造平屋149㎡の既存給食棟、RC造平屋166㎡のコンピューター室棟を改修するほか、既存校舎の東側に新校舎と屋内運動場などを増築する。増築校舎はRC造3階建て延べ1971㎡、屋内運動場はS造2階建て延べ715㎡で計画。

設備工事では増改築に伴う空気調和設備、換気設備、自動制御設備などを整備する。工期は23年2月17日まで。

設計は岩見田・設計（東北事務所・仙台市青葉区）が担当している。

工事は議会承認案件となっていることから、来年2月の市議会定例会で承認を得た後、正式に契約する。統合校の供用開始は23年4月を目指している。

市の9月補正予算では、学校教育環境整備事業として古川西部地区統合校関連の施設整備工事に3億7463万円を計上したほか、債務負担行為で22年度を期限に限度額8億0371万円を設定している。

総合計画に合わせ編成

22年度予算方針

大崎市の2022年度予算編成方針は、本年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況や地域経済の動向を見ながら感染症に対応する事業を優先的・重点的に実施するとともに、第2次総合計画後期基本計画の策定に合わせ、22年度から24年度までの実施計画と整合性をとりながら編成する。

特に22年度は本年度と同程度の一般財源を見込む一方で、本庁舎建設事業などの投資的経費がピークを迎え、大幅な財源不足が見込まれる。財政調整基金の残高は17年度から減少を続けており、本年度末には70億円を下回る見通し。

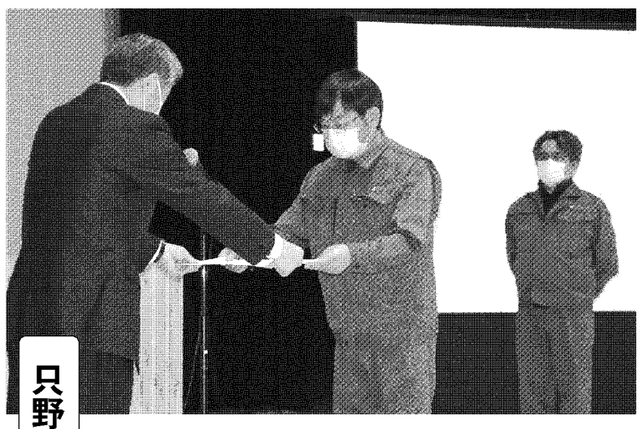
市は大規模災害時の迅速な対応に向け、財政調整基金を50億円程度は確保しておく必要があるとしており、財政調整基金への依存度を引き下げるために、本年度に見直しを行った枠配分方式をベースに一般財源の上限枠内で要求を行う。

このため、継続事業であっても優先度や緊急性が高い事業を軸に、事業の延期や中止も含めて検討し、歳出については、徹底したスクラップ・アンド・ビルドを基本に見直しや再構築を図る。

新型コロナウイルス感染症対策事業については、感染症への対応として経済対策、生活支援、雇用対策に関する事業を迅速に対応できるよう配慮していく。

年末の危険 回避

只野組 21年度安全大会


受注工事で無災害を果たし、社内表彰された小山さん（中央）と大友さん（右）

只野組（登米市、只野佳旦代表取締役）は10日、同社グループの安全大会を豊里公民館（登米市）で開いた。慌ただしい年末に現場で不注意が生じないよう、従業員らの安全に対する意識を高めた。

安全大会には只野組とメディアオークラの従業員ら約70人が参加した。只野社長はあいさつに際し、建設業における最近の労働災害発生状況を解説した。県内では11月9日時点で3人が死亡しており、「残念ながら労働災害が微増している」と説明。相変わらず三大災害が多いことを踏まえ、明した。本年度は安全衛生管理目標に、大枠で▽労働災害発生ゼロを目指す▽安全衛生体制の活性化を図る▽安全衛生意識の高揚を図る――の3つを掲げた。

― 安全最優先を認識 ―

只野社長

「当社では安全を全てにおいて優先していることを再認識してほしい」と諭した。また、安全管理には自身の健康管理が重要であることを伝えた。

大会では鈴木一雄工務部長が同社の労働安全衛生方針、安全衛生管理目標を説明した。

従業員らは安全教育センター・戸ケ瀬哲広部長の安全講話を聴講し、県内で起きた死亡事故例をもとに現場で注意すべき項目を学んだ。

大会ではこのほか、同社の受注工事で無災害完工を果たした工事を選定し、表彰した。本年度はみやぎ県北高速幹線道路・加賀野高架橋の下部工工事で現場代理人を務めた小山祥太郎さん、監理技術者を務めた大友昭芳さんが表彰された。

導入悩む経営者後押し

ICT活用セミナー

地元経営者向けのICTセミナーが開かれた

東北復興i-Con連絡会議

東北地方整備局や建設業団体で構成する「東北復興i-Construction連絡調整会議」は8日、仙台市内でICT活用に関する経営者向けセミナーを開いた。経費などを理由にICT導入を悩む経営者を後押ししようと、山形県のICTトップランナーである地元建設企業2社を招き、導入の経緯やメリットなどを紹介してもらった。

建設業界で進む働き方改革、生産性向上に向けてICTの推進は欠かせない。拡大しつつあるものの、地元建設業では▽メリットが見えない▽機器が高価▽対応できる技術者がいない――などを理由に導入が伸び悩んでいる状況にある。そこでセミナーは、ICTを先行導入している企業に導入前後での自社の変化や利点などを講義してもらい活用に対する理解を促進しようと企画された。

当日は、本県の建設業企業から経営者約20人が参加し、講師は渋谷建設（山形県）の柿崎洋取締役工務管理部長と泰昌建設（同）の澁谷和取締役が務めた。

柿崎取締役は、自社の▽IT導入の初期投資▽社内の人員構成▽活用工事の利益▽ICT建機による施工事例――などを解説。同社ではこれまでに100件以上のICT技術の活用実績がある。柿崎取締役は導入のメリットを「測量から施工まで内製が可能となり、費用の持ち出しがなくなった。どのような規模の工事でも対応できるため人員・時間の削減にもなる」と伝え、「関連の無料ソフトなどもあるのでとにかく試してみること」とアドバイスした。

澁谷取締役は、ICT展開のステップとして、専任担当者に技術習得のため専門コンサルタントから1年ほど指導を受けさせたことを紹介。一方で「興味を持つ」を主眼とした社員参加型のドローン教室など、会社全体でICTに当たり前に取り組む環境づくりも行った。

澁谷取締役は参加者に対し「DX（デジタルトランスフォーメーション）の潮流は止まらない。社会資本の整備を通じ、社会の安全安心を担保するという理念は永久不変だが、それを実現する手段は可変だ。この変化に対応しなければ理念の実現はできない」と話し、導入の際には「国交省の導入ガイドラインなどにとらわれず、まずは自社で取り入れられそうな部分から始めてみれば有用だと感じるはずだ」と力を込めた。

委託期間 5年に拡大

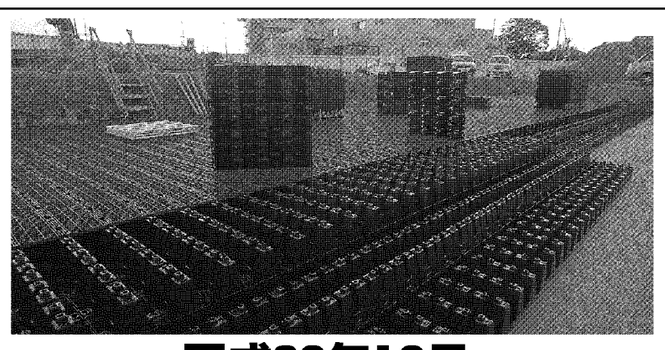
多賀城市 給水装置の包括業務

多賀城市は、水道事業経営の効率化を図るため、給水装置等の関連包括業務の委託期間を3年から5年に拡大する。期間は2022～26年度。同期間で12補正予算案に限度額4億5827万円の債務負担を設定した。予算可決後は、年度内に公募型プロポーザルを公告し、事業者選定を進める。

市は19年度、同業務に包括委託を導入した。委託事業者は、多賀城市管工事業協同組合（高橋淳理事長）。試行段階で期間は19～21年度の3年に設定していたが、22年度以降は26年度までの5年に拡大する。長期契約で業務を包括委託することで、経営の効率化や職員の技術継承を補完する。

委託費は19～21年度の約2倍で、4億5827万円を上限に12月補正予算案に盛り込んだ。主な業務はこれまでと同じで漏水受け付け、現地確認対応、24時間体制の修繕受け付け、鉛製給水管解消業務、検査満了量水器の交換のほか、残留塩素濃度測定定期トレンド、修繕工事の緊急対応、水圧測定、鉛給水管修繕など。

台風やゲリラ豪雨などの水害・洪水対策
雨水流出抑制に!
セキスイ クロスウェーブ プラスチック貯留材
迅速に御見積致します!! まずはご連絡下さい!!
旭洋設備工業㈱
―― 積水テクノ成型㈱製 クロスウェーブ代理店 ――
TEL022-279-0322 FAX022-279-0346
〒981-0952 仙台市青葉区中山8丁目9-5
http://www.kyokuyo-co.co.jp
mail:kyokuyo@basil.ocn.ne.jp
詳細はWEBで!


平成30年10月
道の駅おおさき雨水貯留槽工事
クロスウェーブ積層状況

■超軽量!! プラスチック製! 7.4kg/枚!!
■簡単な人力施工! 工期の大幅短縮!!
■全国11,000件! 2,600,000m³の施工実績!!
■柔構造で耐震基準レベル2をクリア!
■鉛直方向T-25対応の高耐荷重設計!
■地下式だから上部土地の有効利用が可能!